



めたせこいあ

「吉賀の地を学びの原点に」

校長 渡部 敏郎

去る3月1日、第57回卒業証書授与式を挙行了いたしました。当日はコロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小しての実施となりましたが、35名の3年生が胸を張って巣立っていきました。卒業生は3年前「サクラマス交流センター」の竣工と同時に入学、その後公設塾も設置され、まさに吉賀高校魅力化事業の大きな転換期と重なる3年間を過ごしたことになります。その間、県外からの生徒募集も安定期を迎え、在校生と共に吉高の新たな魅力発信に大きく貢献してくれました。卒業生のみなさんが、将来振り返って見たときに「自分の学びの原点が吉賀の地にあった」と思い返してもらえると、大変うれしく思います。いつの日か吉賀町を支える人財として永く活躍してくれることを祈っています。



おわりのはじまり～旅立ちの時～



生徒一人一人が新しい道への期待と決意に満ちあふれた引き締まった表情で、式に臨む姿がとても印象的な卒業式でした。3年間生徒を支えていただいた保護者の皆様、そして温かく見守っていただいた地域の方々に教職員一同感謝をしております。

式では、担任が一人一人呼名し、松田基史くんが卒業生を代表して、卒業証書を校長先生から直接受け取りました。在校生送辞では、武岡梨緒さん(生徒会副会長)が静寂の中に響き渡る、凜とした声で贈る言葉を述べました。そして卒業生代表の答辞では、谷元美月さん(元生徒会会長)が3年間の学校生活をゆっくりと振り返り、様々な人への感謝の気持ちを述べました。その端々に3年間の情景を思い起こさせる表現が散りばめられ、耳を傾ける卒業生は晴れやかな顔や涙ぐんでいる顔、さまざまな表情を見せており、この吉賀高校でかけがえのない思い出をつくったのだと思います。

いつも明るく元気に本校を盛り上げてくれた卒業生の皆さんがいなくなると思うと、正直さみしさもあります。4月からそれぞれの夢に向かってスタートを切り、各分野で大いに活躍してくれることを楽しみにしています。

最後に、ご来賓の皆様、地域の皆様の出席をご遠慮いただいたこと、在校生についても出席を見合わせる運びとなったことをお詫び申し上げます。なお、ホームページ上にも当日の様子、「在校生送辞」と「卒業生答辞」を文面にて掲載していますのでご覧下さい。

《入場》



《卒業証書授与》



《校長式辞》



《在校生送辞》



《卒業生答辞》



《退場》



《卒業生から在校生に向けた寄せ書き》



自分のプロジェクトを磨き、創り上げる！

マイプロ

2月8日（土）9日（日）、「全国高校生 MY PROJECT AWARD 2019 島根県 Summit しまね探究フェスタ 2019」に出場しました。出場者は、2年生から日頃アントシで探究してきた3チームと個人として坂内隆斗さん、1年生からは異なる想いをプロジェクトにした吉井美咲さん、高橋那央子さんが出場し、それぞれのプロジェクトを披露しました。ここで発表したものを2月13日（木）のキャリア教育成果発表会でも発表しています。



地域系部活動
報告会

2月5日（水）、パレットごうつにおいて「地域系部活動報告会」に有志が参加しました。本校の特色として全校生徒が地域クラブの部員となり、町内イベント等に参加し地域との交流を促進していることを報告しました。

未来へ届け！～広げよう、私たちの願い～

2月13日（木）、六日市体育館を会場に「令和元年度キャリア教育成果発表会」を開催しました。昨年末に行った中間発表会で参加者からいただいた改善点や工夫点をもとに試行を重ね、1年間の集大成をポスターやパワーポイントにまとめて発表しました。

例年、この活動には地域の方々のご支援と協力が必要不可欠であり、実際に多くの方々のご協力のもと大きな成果を得ています。改めて感謝申し上げます。

当日は、本校生徒と今年度の夏・秋と高大協働研究に取り組み、交流してきた青山学院大・法政大の学生、町内の中学生や地域の方々に参加しました。講師には5名の先生方（青山学院大、法政大、大正大、日本女子大）をお招きし、樋田先生（青山学院大）と浦崎先生（大正大）から講評をいただきました。会場は参加者で埋め尽くされ、充実した発表会となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。当日の詳細はホームページ上に掲載しています。



《講師紹介》

《ICT 機器を使って発表》

《試作品を配る生徒》



《マイプロ発表（吉井さん）》

《マイプロ発表（高橋さん）》

《大学生代表発表（東島さん）》

